

憲法メディアフォーラム開設4周年記念シンポジウム

自衛隊・米軍報道を斬る～マスメディアは事実を伝えているのか～

田母神発言と文民統制（シビリアン・コントロール）のあり方、憲法9条と自衛隊との関係、それらの問題がクローズアップされています。ソマリア沖海賊の対策としての海上自衛隊の派遣を可能にする新法制定も現実に視野に入ってきています。自衛隊をいつでも海外派兵することを可能にする恒久法の制定にまで繋がりがねません。今こそ自衛隊・米軍報道の在り方が問われています。

岩波新書で「戦地派遣」について書かれた半田氏、自衛隊内部の抱える闇を追及する三宅氏、沖縄から米軍再編と戦時体制に組みこまれる日本の問題を告発してきた松元氏。三者を招き「マスメディアは事実を伝えているのか」という課題について検証してみたいと思います。是非、ご参加ください。

日時 5月9日(土)13時30分～16時30分 **資料代** 500円

場所 東京しごとセンター地下講堂

(東京都千代田区飯田橋3-10-3:JR飯田橋駅東口からホテルメトロポリタン隣)

報告者・パネリスト

半田 滋氏(はんだ しげる)・・・(予定)

1955年栃木県生まれ。東京新聞編集委員。下野新聞社を経て、1991年中日新聞社に入社し、東京新聞編集局社会部勤務。1992年より防衛庁(現防衛省)取材を担当。1993年防衛庁防衛研究所特別課程修了。

著書に「戦地」派遣 変わる自衛隊 (岩波新書) (新書2009/2)。闘えない軍隊 肥大化する自衛隊の苦悶 (講談社+ 新書2005/8/23)。

三宅 勝久氏(みやけ かつひさ)

1965年岡山県生まれ。元「山陽新聞」記者。「週刊金曜日」連載の武富士批判記事を巡り、同社から1億1000万円の損害賠償を求める口封じ訴訟を起こされるが最高裁で勝訴確定。反撃訴訟でも全面勝訴を勝ち取る。現在は消費者金融のほか、自衛隊内のいじめ、自殺問題などを取材。

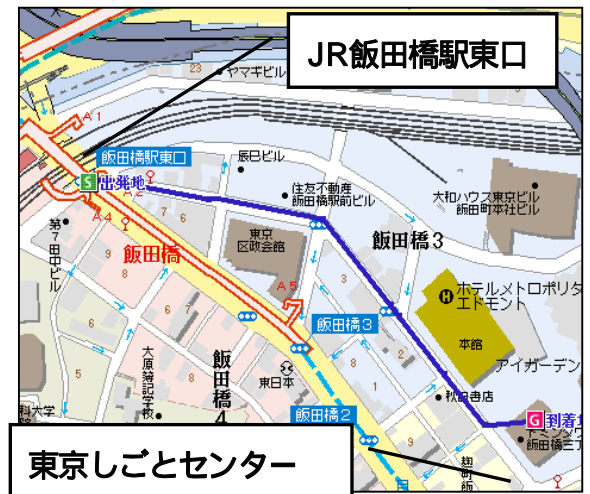
著書に悩める自衛官 自殺者急増の内幕(単行本 - 2004/9)、自衛隊員が死んでいく “自殺事故” 多発地(単行本 - 2008/5/25)

松元 剛氏(まつもと つよし)

1965年沖縄県生。琉球新報社入社。政経部で2度の基地担当、編集委員、整理部副部長などを経て、現在経済部部長待遇。2002年の連載企画「軍事基地と住民」で新聞労連ジャーナリスト大賞、2004年の日米地位協定改定キャンペーン報道で、日本ジャーナリスト会議(JCJ)賞大賞、石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞など受賞。共著に『ルポ 軍事基地と闘う住民たち』(NHK出版、2003年)、『検証 地位協定 日米不平等の源流』(高文研、2004年)、『観光コースでない沖縄第4版』(・年、高文研)など。雑誌「世界」にコラム「沖縄という窓」を隔月連載中。

コーディネーター：豊 秀一(ゆたか しゅういち)

1965年福岡県生まれ。新聞労連委員長。89年、朝日新聞社に入社。東京本社社会部で主に司法・憲法問題を担当。01年9月から3年間、司法担当論説委員。千葉総局デスクを経て2008年9月、新聞労連委員長に就任。著書に「国民投票 憲法を変える？変えない？」(岩波ブックレット)



日本マスコミ文化情報労組会議(MIC)

〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-18いろは本郷ビル2階
TEL:03-3816-2988 FAX:03-3816-2993

日本ジャーナリスト会議(JCJ)

〒101-0064 東京都千代田区猿楽町1-4-8 松村ビル401号
Tel.03-3291-6475 Fax.03-3291-6478